長 山 口

鳥

副会長

副会長 渡

副会長 森

〈司会・進行〉

副会長 渡

越

辺

雅

健

出 席 者

(総務企画委員長 山口建設社長)

(建築委員長 渡辺建設社長)

(労働資材委員長 森建設社長)

巖氏

人氏 (土木・舗装委員長 徳力建設工業社長)

司氏

栄氏

. I

ただきます。

当初はお断

した。今もそ

改善が中心で

の基本は変わ

らないもの

お話しを頂きます。まず、 副会長から座談会形式で がスタート 建総会において、 口新会長にご挨拶をい 5月23日の都中 しました。正 新体制 山口巖

の後40数年、 強く、 を展開してきましたが、 さんのもとに様々な活動 れたと聞いています。そ 界の中で大手さんの声が 学生の頃に発足したと思 していく場として設立さ いますが、当時は建設業 出口 中小の意見を反映 都中建は私達が 歴代の会長 になると考えています。 までの課題に継続して取 長をお受けした次第で り組んでいくことが基本 するよということで、会 の、担い手の 営については役員が協力 営する時代。 皆さんの合議のもとに運 協会活動としては、今 したのですが、協会運

問題など課題

はさらに複

邊 裕 之氏 (広報・渉外委員長、渡邊建設社長) てもその可能性は探って いくべきテーマと考えま 不足の中、我々中小とし 大手さんですと導入しや が進める「ICT」は、 いようですが、担い手 生産性向上で国交省 か。 都中建ならではの存在価 しょう。 とが非常に大事なことで 値を維持、高めていくこ みんなで力を合わ 鳥越 時代に合わせて

内容を詰めて頂いて、 まで以上に情報発信がで きる団体にしていきたい 具体的には各委員会で 今 の存在意義が出てくる。 のスキルアップ、レベル で、おのずと協会として アップを図っていくこと |木委員会では、地域中 地域の地場産業全体

のお父さん、また、私の父 などが会長の時もその時 渡邊 渡辺副会長さん ドを持って仕事をしてい 小建設業が自信とプライ

を注いだ災害対応や「担い手確保」に向けた取り組みの加速化に大きな期 副会長と鳥越雅人副会長が再任し、 委員会における重点課題、課題など聞いた。 「山口新体制」のスタートにあたり、正副会長に今後の都中建と所掌常任待が集まるが、その実効性確保にはクリアすべき課題が山積している。 順人理事、森栄理事を選出した。豊田前会長が東日本大震災を受けて力 会長を務めた豊田剛氏が勇退し、後任に山口巖副会長が就任、渡邊裕之 5月の総会で任期満了に伴う役員改選が行われ、 新副会長に渡辺健司会計理事と細沼 3期6年にわたって

(4面に細沼副会長はじめ、新役員の抱負を掲載)

長がトップダウンで組織 を動かしていくのは難し からは一定の役割分担、 いと感じています。これ い手確保、生産性 確保と入札・契約制度の が、中小建設業の受注の のが変化してきました 代時代で協会に求めるも

の建設 村もが変わっていきま い。都が変われば、市町 色々と働きかけていきた 局、財 務局等に 思います。

を集約しながら、

東京都

術力アップにも取り組ん す。災害対策では、大手 でいきたいと思っていま とは違った棲み分けの中 保、若者の定着率向上、技 も深めながら、担い手確 など他の委員会との連携 また、労働資材委員会 の新たな課題、ソフト面 る需要創出等に取り組ん の啓蒙・耐震相談等によ 業を拡大していただきた でいくとともに、社会保 対して中小企業向けの事 険等の未加入の問題など としても引き続き役所に いといった要望や耐震化

たいと考えています。 も積極的に活動していき また、都中建が歴史を

向

山 口





雅人氏 鳥越

好循環構造 会員増強 育成支援事業」で、

働省の「建設労働者緊急 鳥

存在意識も高まる。その くしていけば、都中建の りという部分をさらに強 配りのできる企業の集ま 地域に精通した、 心 ら2代目、3代目へと、 員企業のトップは創業か 積み上げてきた中で、会 いわゆる世代交代、若返

きたい。

方、担い手確保の問

今は世の中も変化して会

産性の向上、ダンピング

動、委員会活動について

る鳥越副会長は、協会活

土木委員会を担当され

どのようにお考えです

役割の一端を担っていけ

都中建の

魅力ア

渡

辺

す。

す。工事発注の平準化、生

番は「担い手の確保」で

す。

む必要があると思いままさに役割分担で取り組

雑、多岐に渡っており、

入札の防止も重要な課

任される渡辺新副会長さ るように頑張っていきま 渡邊 建築委員長を兼 渡辺 初めて副会長を いかがでしょう。

せ

んは、

委員長を兼務します。 仰せつかりました。建築

0社ほどに減少していま ていた会員数が今は13 も、最大400社を超え を目的に発足した都中建 中小建設業の地位向上 建築業者の落ち込み ろです。 委員長で、森新副会長さ 前回までも佐久間さんの んにお願いします。 渡邊 労働資材委員会は 労働資材

トで委員をやらせて頂

には「旧来の

しきたりか

いないという問題はある

行政への発言力も増

員が都中建の魅力をアピ め、会員の増強を図るたな情報発信の効果を高 ールしていかなければい りが進んでいます。様 めにも、我々新世代の役

けないと感じているとこ います。 題では、 保など、他産業に比べて げることも重要となって 利厚生の充実や休日の確 社会保険など福 「定着率」を上 すね。 協会の役割を訴

健司氏 渡辺 リッ 方々も 協) 入会によるメ ません。

遅れているといわれる建 え、そうした を深化させて かがお考えで 出 会員増強に 会員 減少の背景 ついてはい いきたいで 協会の価値 今

縮小して企業の疲弊が激 しかったということだと れだけ建築市場が大きく このため、建築委員会 さらにい ればと思っております。 ており、その時の知識を い形にしていけ

業努力だけではそれが難

ありますか

改善が急務で、

個々の

のテーマは担い手確保に に合同企業説明会を開催 日本工学院の学生を対象 なると思います。昨年度、 労働資材委員会の最大 いこともな

者確保・育

事発注の平

できればと考えておりま 専門学校や大学等におい 学院だけではなく、他の ても同様の説明会が開催 しました。今後は日本工 準化など労働 ら、委員会等としても行 政に対して工

象に必要な講習を行い、 が、建設業で働いてみた 建設業に従事する必要な 者、未就職卒業者等を対 入れて取り組んでいるの いという離転職者、新卒 委員会が力を 参加頂いて、 築の仕事、 と都中建の取り組み、役築の仕事、建設業の魅力 クなども通じ ジにしろ、フ 口新体制のもと、若い人の立場からは、今後は山 ていきます。 していけたら 割などを広く世間にPR たちにもっと 成に必要な対応を要望し た。最後に、 お話しを 渡邊 通 して土木、建 広報委員長 ただきまし 協会活動に ェイスブッ り皆様から いいなと思 ホームペー

そして、

企業等に紹介する厚生労 資格取得を支援し、会員 越 りがい、喜び くても、建設の仕事はや あるのですから。 っています。 休みは少な がいっぱい

をもっと力強く進めてい これ 員の増強を図るには入会 したメリットが重要。実 少しており、 どこの協会も会員が減 現実的に会

札時の加点や外国人技能 際、新規入会の中には、入

志を同じくする優良企業 ちづくりや社会貢献等で さは残しつつ、東京のま 要ですから、そうした良 の入会を心より歓迎しま

きたわけです。しかし、な までもその増強に努めて つながりますから、これ かなか思うようには進ん の力を表す大きな要素の 一つで、財政の強化にも 渡辺 会員の数は組織 地域の中小建設業の集ま 起こすことが大事だと思 り等に行って、それをア リットが重要でしょう。 ピールするなどして掘り にも、やはり入会するメ ょっと寂しい。 鳥越 再入会して貰う

ど、 都 実習制

中建(都中

度の活用な

rを求めた

少なくあり

行政にも

建設業は働き手が ての行動力強化に伴っ 現在の会員数では十分と た災害協力においても、 はいえません。会員の数 が増えれば、都中建とし

とは簡単ではないと思い 社がある企業の東京支店 きた会社、また地方に本 が横たわっているだけ 伴って廃業したり、休眠 の方々等にはぜひ再入会 実に経営されている企業 まったものの、現在も堅 ますが、以前退会してし 状態の企業が増えるな らの決別」や、建設不況に いただきたい。 もう一つは、新しくで 加入企業を増やすこ にしろ、 業を発掘していけば、 です。人とのつながりを 前入会していた企業を中 っしゃられたように、以生かして、山口会長がお から、新入会員を募るに 控え、しばらくは仕事の って頂けるところも少な はチャンスといえる時期 ある状況が続くでしょう ック・パラリンピックを に忙しい。東京オリンピ 心に同じ価値観を持つ企 仕事はそれなり

かるギリギリの数で、大 などにも入って来てほし 組織よりも緊密なお付き う規模はお互いの顔が分 一方で、百数十社とい 運営していく中で、最大 くない気がします。 やめられた方に、もう一 もまずは以前入っていて の課題だと思うので、私 うことは、こうした会を 森 会員を増やすとい

合い、意志の疎通が図り やすいという側面もあ 都中建の役割をさらに強 り、これはメリットの一 化するには数の拡大が重 つ。ただ、災害協力など、 るぞという盛り上がりは 加して以来、さあ増強す だと思います。 度プッシュするのは必要 1回もなかったように感 ただ、私が都中建に参

じます。 社が130社ほどではち どうでしょうか。400 標に向け頑張ってみたら 皆で意見交換して、目

きたいと思っておりま で、今後一層そういう募 ではいません。私自身、 集活動にも力を入れてい 副会長に就任しましたの っております。 山口会長がおっしゃっ